

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 1 2 0	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 24 日
件 名	教育に係る保護者負担の軽減		
要 旨	<p>コロナウイルス感染が長期化することで、経済的な格差の広がりを更に大きくし、生活の困窮と子供の貧困をより深刻なものにしている。感染の第6波の原因となるオミクロン株は子供たちに感染し、保育園、学童保育、学校を閉鎖せざるを得ない状況が多発し、保護者が仕事を休まざるを得なくなり収入が減って生活困窮の限界まで来ている家庭が増えている。</p> <p>コロナ禍で家計の経済的な悪化から、子供の食の貧困が社会問題となっている。食費を削るために食事の回数や量を減らすなど、命に関わる問題になっている人も出ている。給食の役割が重要になっている。</p> <p>保護者にとっても安心して子育てができるよう、給食費や教材費、修学旅行費など学校教育に係る保護者負担を軽減するための予算措置が必要である。</p> <p>また、公立高校で個人負担で購入するタブレット端末は、入学金や授業料と比べてみても高価なものである。アルバイトで学費を工面する大学生が食費を切り詰めたり、アルバイト先がなくなって退学したりする問題もあり、高校や大学に通うための費用についても給付型奨学金のような公的な援助措置が今必要となっている。</p> <p>私たちは、全ての子供の命が大切にされ、安心して学べる教育環境を望む。子供たちに確かな学力を保障し、友達とつながる力を身に着け、自らの進路をしっかりと歩んでいけるように、京都市が国に対して支援策を求めるとともに、京都市独自に予算を確保し、子供たちの教育に関わる保護者負担を軽減し、そして将来的には無償化するように願う。</p> <p>ついては、コロナ禍で安心して子育てできるよう家庭の教育費の保護者負担を減らすために、教育費の無償化に向けて公的援助制度の充実を行うことを願う。</p> <p>なお、本請願について、2,190筆の署名を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	玉本なるみ、井上けんじ、とがし 豊、河合ようこ		
付 託 委 員 会	教育福祉委員会		